

最上川



倫理経営企業の素顔

第9回 寒河江市倫理法人会 布施建設株式会社

布施健社長(右)と佐藤利広常務(左)

目次

鈴木隆一会長 挨拶…………… 2	幹部研修改革と富士研…………… 7	倫理を学んで…………… 15
北村山倫理法人会設立へ…………… 4	女性委員会交流会…………… 8	宮城倫理経営塾参加者募集…………… 16
実りある3月へ向けて…………… 5	倫理経営企業の素顔(第9回)…………… 9	倫理経営講演会のご案内…………… 16
20周年記念誌「やまがたの倫理」…………… 6	単会トピックス…………… 12	編集後記…………… 16



社団法人 倫理研究所
山形県倫理法人会

学び会い、高め合い。



山形県倫理法人会
会長 鈴木隆一

みなさまには希望に満ちた明るい新年をお迎えることとお喜び申し上げます。年頭にあたり日本の平安と人々の幸せを願い、会員のみなさまの一層のご活躍を祈念申し上げます。

千社倶楽部、庄内地方で開催

昨年10月、倫理研究所法人局主催の「千社倶楽部正会員例会」が庄内で開催され、該当する都道府県の会長が参加されました。私は全国の候補地の中から山形県庄内地方が会場に選ばれたことを誇らしく思います。なぜならこの研修は地域の歴史・文化に触れながら自己を省みる旅だからです。2日目早朝に丸山敏秋理事長が『日本人の道徳意識、庄内藩と敬天愛人』という演題で講演され、その後酒田の南洲神社を参詣したところ誠に清々し

く、心が洗われる思いがしました。出羽三山神社の公式参拝では太鼓の音が魂の奥底まで響き渡りました。地元の方々が「一年に数日しかない」と言うほどの快晴に恵まれ、輝く鳥海山や日本海の景色を目に焼き付けました。

「希望の明日を切り拓こう」という私たちの願いは、ふるさと愛や先人への感謝の念から生まれることをこの旅で学びました。

他者に学び、己を知る

昨年の初冬、私は倫理法人会の講話者として長野県松本市と山梨県富士吉田市を訪れました。みなさんと笑顔で交流しながら多くのことを教えていただきました。また、群馬県高崎東倫理法人会の15名がはるばる山形市蔵王倫理法人会を訪れ、会の運営方法について熱心に勉強し交流して帰られました。

他者から学ぶことで自分の役割、自分の存在意義を知り、自己革新の新たな決意をすることができまます。そして自分を高めることで

他者に貢献することができまます。学び会えることは実にすばらしいことです。

「仲間づくりの会」で県内交流

昨秋、県の普及拡大委員会とモーニングセミナー委員会が県内全単会を訪問しました。そして、一緒に幹部研修やモーニングセミナーを受講するなどしてみなさんと交流しました。この活動の趣旨は「県の担当委員会の委員長、副委員長をよく知ってもらい、単会のみなさんに安心してもらおう、笑顔で交流して仲間になりましょう」というものです。訪問を受けた側も訪問した側もお互いに意欲を高め合う機会となりました。12月から、今度は県の研修委員会が単会訪問を始めましたのでよろしく願います。

「Msスタンプラリー」が始まる

他単会のモーニングセミナーを訪問してスタンプを押してもらい、それを集めると会員大会で表彰される新たな制度が昨年12月から

始まりました。「山形県モーニングセミナー スタンプラリー」です。

私もすでに数個のスタンプをスタンプ帳に押印してもらいましたが、スタンプのデザインがそれぞれユニークで楽しい。また、メモ欄に書いたキーワードを眺めてはその日のMSの感動や交流の様子を思い返しています。

各単会がそれぞれ創意工夫して会の運営を行っており、訪問してそれらを発見すると「いいね」「がんばってるね」と声をかけたくなります。気づいた長所を褒め、もっと良くなるアドバイスを伝えるとんだかうれしくなります。そして、自分の所属する会を「もっと良くしたい、そのお役に立ちたい」という願いが心の奥に芽生えたなら、それはきっと成長の証しだと思うのです。

今後の交流に期待

こうして内外の交流によって倫理の実践に弾みがつき、人財が育つことでそれぞれの会が拡充し発展することを期待します。

今後、2月中旬には山形県の有志が富士高原研修所で「経営者倫理セミナー」を受講します。2月下旬には「北海道東北方面会」が松島で開催され各単会から3名ずつ出席します。さらに2月25日の山形市倫理法人会を皮切りに、各地で「倫理経営講演会」が開催されます。そして3月は今年度第2回目の県普及強化月間となりますので、このような機会

に積極的な交流を図り、山形県の次の勢いを創り出してまいりたいと願っています。みなさまの積極的なご参加をお願いします。

「北村山倫理法人会」設立運動スタート

地域を愛し、その発展のために活動したい、そして日本創生に貢献したい。私たちのこの願いを短期集中型で実行に移すのが新しい会の設立運動です。昨年発行された県設立20周年記念誌『やまがたの倫理』にも掲載されたとおり、県の設立を含めこれまで県内で14回の設立運動があり、14種のドラマがありました。そして今、次のドラマが始まろうとしています。

絆は失われ、道義も誇りも廃れてゆく日本。歯止めは掛けられないのでしょうか？だから今こそ日本創生の第一歩として、私たち経営者の自己革新から始めるのです。そして、私たちの実践を継続して支援する倫理法人会が北村山地域に待ち望まれています。そのため平成25年6月28日、私たちは「北村山倫理法人会」を設立します。

これまでの歩み、今後の取り組み

昨年12月の県役員会において、会長予定者として天童市会員で県研修副委員長の早坂幸起さん（株式会社エツキ社長）が選任されました。また設立実行委員長には山形市相談役で県MS委員長の柴田津與志さん（柴田原料

株式会社社長）が選任されました。

今後は1月から実行委員会の活動を開始し、特に4、5月に東根市、村山市、尾花沢市、大石田町などの事業所に対し普及活動を行います。そして設立1ヶ月前の5月28日に会員・役員名簿を法人局へ提出する運びです。

北村山の情熱を、全県に

設立実行委員会には県内各単会から多数の方々に参加いただき、県挙げての設立運動にしていきます。そして、北村山設立運動の情熱を他の既存単会の活性化につなげたいと願っています。「ひとの喜び、わが喜びに」の理想を今こそ実現しましょう。北村山の熱い交流により県全体が熱くなれば、会長としてこんなうれしいことはありません。

学び会おう、高め合おう

平成二十五年に喜びを創ろう
ひとの喜びをわが喜びとしよう
言葉の前にほほえみを交わそう
希望を持って交流しよう
そして、学び会おう、高め合おう

これまでのご支援ご協力に深く感謝し、みなさまのご多幸を祈念申し上げ、結びとします。

倫理の光 北村山に新拠点決定 山形県全域に



設立実行委員長 柴田 津興志

未普及地域として残っていた北村山（東根市・村山市・尾花沢市・大石田町）に平成25年5月28日、120社にて北村山倫理法人会を立ち上げ、設立認可願いを提出することに決定しました。去る12月4日山形県役員会にて設立実行委員長を拝命し、会長予定者として早坂幸起氏を決定しました。早速12月19日発起人会にて実行委員会の組織や設立までのスケジュールが決まりましたのでご報告しながら、実現への決意の一端を申し述べます。

まず組織については、鈴木県会長、晋道幹事長の元、伊藤明彦副会長のご協力・補佐をいただき、実行委員長の下部組織として3つのグループ（G）を設定しました。第一Gは企画運営Gで伊藤明彦氏がリーダー。設立日までの全体的なスケジュールングを行い、名簿・情報・会計管理や人員配置統制等を主に担当します。第二Gは北村山設立準備Gで早坂幸起氏がリーダーとなり会員移籍の件、MS会場の選定、設営準備、新入会員の指導、プレMS準備等を行うと同時に普及活動にも邁進します。第三Gは普及活動支援Gで五十

嵐慶三氏がリーダーです。文字通りの単年会設立の中心的喜働Gで、鈴木富士雄新庄最上相談役をはじめ、水沢天童市、海野寒河江市、田中新庄最上の各会長がサブとなり支援活動を展開します。

次にスケジュールについてですが、新年1月中旬より関連自治体・団体の訪問に始まり、5月28日まで120社を達成し、同時に本部へ会員・役員名簿を提出します。その結果一ヶ月後の6月28日（金）に設立式典・祝賀会を予定しています。具体的には会員50社に達した時点でプレMSを開始します。目減りしないように確実な120社の会員企業達成のため、4月・5月に強力な普及活動を推進しますので、皆さまのご支援、ご協力を心よりお願いいたします。

この北村山倫理法人会の設立が北村山の発展に貢献することは勿論、山形県全域が倫理の光に包まれたことに大きな意義を感じ、日本創生に向けて、山形から一步を踏み出す事が出来ると確信しています。普及活動を倫理経営実践の好機ととらえ、120社達成が今年度目標1750社の大きな一角となると考え、他単会へ大きな励みとなるよう、限られた期間全力投球しますので、心からのご支援重ねてお願いいたします。



北村山倫理法人会
会長予定者 早坂 幸起

「早く近くに単会をつくって欲しくないかな?」、天童市倫理法人会に入会してからずっと思っていたことでした。

今年度県の役員になり、次の新設単会は空白区である東根市を中心とした北村山地区にという話を聞かされた時からなんとなく不穏な空気が周りに流れるのを感じてはいました。そんな時、県の鈴木会長と晋道幹事長、そして天童の水沢会長との面談。多少の心の準備はしていましたが、さすがに今回は「ハイ」の即答は出来ずに一日の猶予をいただき家族と相談することに。妻に相談して反対されたらお断りしようと思いつつ話すと、妻からは思いがけない一言。「近くなっ
ていいよね」と即答でした。



この一言でスイッチが入り、会長予定者という大任を引き受けることになりました。多くの倫友の皆さん、北村山倫理法人会設立にご協力よろしく願います。



普及拡大委員長 池田 修一
副委員長 木村 健彦

皆さん、こんにちは。平成25年度山形県普及拡大の基本方針は、①堅固な組織の構築を最重要課題としてとらえ、堅実で正しい普及活動を行う（拡充）②退会防止活動を組織的に進める③Bクラス4単会の資格復帰があります。普及拡大目標は1750社、社数増の内訳として新単会設立で120社、既存13単会純増50社、達成期日を8月2日（金）と定め活動を進めてまいります。

*今は屈みの時期だ！

新年度がスタートして4ヶ月経過しているところですが、これまでの活動としては、9・10・11月の中旬にかけて県MS委員会と合同で全単会を訪問し、交流会を開催させていただきました。新年度発足間もない、単会各委員会もようやく構成されたばかりの戸惑いの中での訪問でしたが、いずれのところも会長を中心にまとまりのある単会色プンプンの、意欲を持った発言を聞くことができ、仲間づくりの喜びを感じたところです。

また、11月に第1回普及拡大月間を開催しました。スタートしたばかり、単会企画行事とのラップ、前期の普及拡大疲れ、退会防止

の歯止めがかからず等で活動が低調に終わってしまった感じですが、入会者数、普及活動参加者数を反省しながら、若干活性化が図られてきたMS出席者数、役員朝礼出席者数の増に期待です。その中で対前年度プラス2社の米沢、期計画目標達成の山形市蔵王は、対前年度純増5社の県表彰基準には届かなかったものの、立派な活動実績で特別表彰を考えているところです。また、他単会におかれましてはこの期間は退会防止の月間としてとらえ、膿をすべて出し切った模様で、これまでの種まきを今後しっかりと育てていくとの力強い声がたくさん聞かれ、とても頼もしく、期待をしているところです。

ここに丸山竹秋前理事長の「普及、宣布の言葉」を紹介します。

『他人の事を干渉しないというのも一理はある。しかし本当に困ったり、弱ったりしている人たちを、見て見ぬ振りをしている。それで愛情があると言えるのだろうか。あえて強く言いたいのはこのことである。少なくとも人間である以上は、苦難にあえいでいる人を知ったならば、こうすればよいという生き方を積極的にすすめるのが、本当の親切というものではないか。』

こうして生活のすじみちを伝えずすすめる活動を、低級とみてはならない。

それは人々のためであると共に、自分自身

をより以上に向上させる最も意義の高い活動なのである。人々に知らせ、愛情をかけられたいして自分も立派になっていけるのだ。人生についての真の信念は社会のため、人のために尽くすことによって得られる。』

国や、企業や、家庭が正しい形で栄えていくには、一人の人間がその構成の基になっていることを忘れてはなりません。そしてより正しく栄えていくには、「人を幸福にする」という使命を果たす責任があるのです。「自分さえよければ」という「利己主義的」な考え方を捨てるのが、日本再生の鍵となるでしょう。そこに欠かすことの出来ないのが「純粹倫理」の実践なのです。

*普及は実践の最短コースである！

本年度の基本は拡充です。喜んで、進んで、人の喜びをわが喜びに、笑顔で明るく、楽しんで、実りある第2回強化月間、3月に進んでいきたいと考えます。単会役員皆さまのより一層のご協力、取り組みに期待します。

また、北村山倫理法人会設立実行委員会も立ち上がりました。3月の強化月間で弾みをつけ、新単会設立に全員参加で突き進みましょう。池田、木村の平成25年度普及拡大委員会を今後ともよろしくお願いいたします。

20周年記念誌

「やまがたの倫理」発刊について

山形県の母なる川「最上川」沿いに、14番目の単会「北村山倫理法人会」が誕生いたします。山形県民の歌「最上川」、作詞者は昭和天皇、海に入るまで濁らざりけり、濁らざりけり。和歌の中にも数多く詠まれている「最上川」、出羽の国を象徴するこの美しい流れは、郷土の誇りであり、流域には人々の暮らしや地域文化が根付いており、生活者に潤いと安らぎを与えてくれます。そして、大いなる流れのもとに、各単会が誕生しているのです。モーニングセミナー、スタンプラリーがスタートいたしました。他単会の特徴に触れながら気付いたことを取り入れてみる。実行することによって、会員相互の関係が濁ることなく美しい流れとなって、さらに好転する。この繰り返しですが、流域にある各単会を成長、発展させていきます。

この記念誌を発刊するにあたり、丸山理事長をはじめ、研究所の皆様方より多大なるご協力を頂戴いたしました。お世話を頂いた皆様方に、ご贈呈させて頂きましたところ、さらなる「激励」と「感謝」のお言葉を頂戴いたしました。ここでご紹介いたします。「作りの手の熱い思いが伝わってきます。ひとつ、これを機に山形が大きく翔くよう、皆様のま

すますの活躍を期待しています」。これは倫理研究所 中西浩前法人局局长からのメッセージです。このように、会員の皆様方による熱き思いが、研究所の先生方にも共感して



▲中身の一例



▲やまがたの倫理表紙

頂けるキッカケとなりました。大自然の美しい姿、最上川の流域と共に成長・発展する「倫理法人会」は、郷土の風景や景観を超えた新たな価値観を求め、人々の相互交流「ヒューマン・ランドスケープ」のような世界へと広がっていくのでしょ。



20周年記念誌部会
部会長 五十嵐慶三

ここ数年、記録的な豪雪が続いて雪害が大きくクローズアップされております。我が郷土には、この問題に命がけで取り組んだ偉大な政治家がいます。昭和初期の頃から、雪害の実態を重く受け止め、税制上の措置など、郷土の発展に大きく影響を与えた政治家、松岡俊三氏です。氏は、楯岡出身の国会議員です。大正15年に遊説中に肺炎となり済生館に入院、そこで見たものは乳幼児が次々と運ばれる様子、母親のすすり泣きが聞こえ、寒さと栄養失調が原因と判断、その後、リュックサック一つで飛び回り、ようやく法案を議決。浅草寺の「大わらじ」は村山市の奉賛会による奉納で、雪害問題が解決したお礼に奉納したのが始まりとのこと。偶然にも、今度誕生する単会と同じエリアです。

日本の歴史は「大自然」と人間を含めた「すべての生き物」が共有しながら創り上げてきたストーリーそのものであります。我がふるさと山形県には、ことのほか善い文化が受け継がれてまいりました。大自然が教えを受け継ぎ、この記念誌（テキスト）を活用しながら、今後も山形らしい「倫理実践の学び」を続けてまいりたいと考えます。

幹部研修改革と富士研について

幹部研修の出席率向上を！



研修委員長 安藤 政則

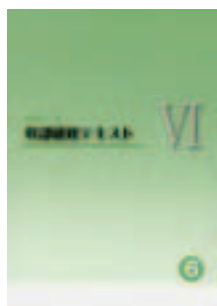
倫理研究所の活動方針によりますと、今年度は①幹部研修における出席率向上に努め、できるだけ多くの役員の方々に純粹倫理を体得、かつ又、役員としての意識を向上して頂く。②富士高原研修所での「企業セミナー」受講を推進する。この2つが研修委員会の大きな活動テーマです。

山形県倫理法人会は、富士高原研修所での「経営者倫理セミナー」に毎年参加いたしておりますが、幹部研修の充実及び役員の方々の受講推進をこれまでやっておりませんでした。

初めての試みですが、各単会でどのような幹部研修を行っているのか、まずはその状況を把握することから始めています。そのためには各単会の幹部研修を回ってみようということになり、早坂幸起副委員長と共に、既に7単会の幹部研修に参加させて頂きました。

3月までに全単会の幹部研修に参加させて頂き、その後、各単会の正副委員長に集まって頂いて、県の研修委員会を開催いたします。他単会の正副委員長がどのようなことを考えておられるのか情報交換をしながらお互いに良いところ取りができればと考えております。とにかく動きながら、見えてくることをしっかりとやってまいりますので皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

幹部研修の参加人数が増えれば、それだけ多くの役員の方々のスキルアップが図れ、単会活動の充実はもちろん、企業経営への応用、地域への貢献が増進いたします。役員を引き受けたことは純粹倫理を学ぶ素晴らしいチャンスです。それを前向きに捉えて、是非活かして欲しいと思います。「役を知り、役に徹し、役



幹部用研修テキスト

を超えない」という役員の原則がありますが、幹部研修でまずは「役を知る」ことが肝要です。倫理は実践によって直ちに正しさが証明できるものです。幹部研修で体得したものを基本に据えて、役員としての務めを実践いたしましょう。

富士高原研修所 「経営者倫理セミナー」

今年から丸山敏雄創始者の墓参がセツトになりました。原点を知ることのできる機会を新たにし、セミナーに参加いたします。

◆日程 平成25年2月16日(土)～18日(月)

2月15日前泊。丸山敏雄創始者の墓参。

◆内容 経営者としての人生を点検総括、社会に貢献する経営道の基本を体得します。

◆資格 取締役以上の役職、単会幹部



女性委員会

庄内ブロック交流ランチ会

昨年11月15日（木）今年度の女性委員会としての活動予定であったブロック単位のランチ会を開催いたしました。今回は庄内ブロックでの交流会です。場所は、全国でも有名な鶴岡のレストラン「アルケツチャーノ」さん。県外からのお客様が足を運ぶほどの人気のレストランです。



酒田、鶴岡、新庄最上、庄内中央、そして山形から計14名の方に参加していただきました。今回のお目当ての一つに「地産地消にこだわった料理」があるのですが、食事が出てくるまでの間、一人一人自己紹介とスピーチをしていただきました。

倫理と出会ったきっかけや倫理を学んで変わった事など、人それぞれに思いの込められたお話を聞く事ができて、大変参考になりました。また参加された方の中には、ご夫婦で倫理を学ばれている方や女性経営者も多く、とにかく皆さんパワフルです。倫理法人会に入会しなければお会いすることもなかった方々との出会いもまた、倫理の結びつきに感謝したいです。

食事が運ばれてくると皆さん一品一品に歓喜し、美味しい料理をいただきながら談話を楽しみました。話題は、今年度開催予定の「女性倫理



女性委員会委員長 土屋 玲子

講演会」の講師は誰にお願いをするか？また、女性委員会活動についての悩みなど、さまざま。他単会の女性委員会の活動などを参考にしながら女性委員会が共に活発になることを願いました。そんな中「アルケツチャーノ」の奥田シェフの登場に全員が盛り上がりました。皆さんの個別の写真撮影依頼にも笑顔で快く引き受けて下さいました。奥田シェフは、おだやかでシャイな感じの印象の方でした。

倫理の学びの中に、「明朗」「愛和」「喜働」があります。特に明朗なことは非常に大切なことであると感じます。「笑う門には福来る」という言葉は、楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しくなる（福が来る）ということだと聞いたことがあります。また、11月20日の「職場の教養」に書かれていた「置かれたところで咲きなさい」の著者、渡辺和子さんの本の中に「不機嫌は立派な環境破壊、口から、態度から、ダイオキシンを出していないでしょうか。笑顔で生きるといふことは、立派なエコなのです。」という文章がありました。人にも環境にもやさしい笑顔で、いつでもどんな時でもほがらか（明朗）に過ごして行きたいものです。そして、明るさは女性委員会から、と言っていただけのような委員会となるように、これからも頑張ります。

今回の交流会は村山・置賜ブロックで行う予定です。倫理を共に学べる場を一人でも多くの方へ伝えられるように、そして共に倫理の実践ができるよう活動してまいります。ご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



倫理経営企業の素顔

第9回

寒河江市倫理法人会

布施建設株式会社



寒河江市倫理法人会の布施建設株式会社様を訪問いたしました。同社の桜井仁会長は普及拡大委員長兼相談役、また、佐藤利広常務は朝礼委員長と、寒河江市倫理法人会の中核メンバーとして活躍中。設計も、鉄骨も、建設もすべてにこだわる同社は、創業が布施社長の祖父が木工を始めた明治43年2月（1910年）。100年を超える老舗企業です。今回は布施社長と佐藤常務のお話をお聞きしました。

●朝礼は外でラジオ体操から

雪がちらつく厳寒の朝。7時45分より朝礼は外で行われました。最初にラジオ体操を行い、終了後に全員が整列。開始30秒前のコー

ルにしばし待つ間、寒さに手が痺れます。朝の挨拶は布施社長。挨拶が終わるとすぐに挨拶実習リーダーが前に出て「ただ今から挨拶実習を行います。お願いします！」と元気な声。おはようございます、いらっしゃいませ、ありがとうございます。テンポが統一された切れの良いの実習。テンポが統一された切れの良い「ハイッ」の言葉が大空に響きます。「ハイッ」は全員での斉唱の後、ひとりずつ行いました。そして職場の教養輪読。複数人数の輪読では周りに気を使いながら声を揃えて読んでいました。リーダーによる感想が述べられました。社内にも月ごとの役割分担表が掲示されているので事前準備が万端でした。感想の後に今日の心がけを斉唱。連絡事項の後、翌日の進行、挨拶実習リーダー、職場の教養輪読リーダーの名前を読み上げていきました。終了は8時きっかり。充実した15分の中に統一感、スピード、キレの良さ、きちんと区切りをつけた終わり方がありレベルの高さを感じ



ました。

●木造も鉄筋も鉄骨だけでも

【布施】祖父の時代から木工をやっています。当社はその3人息子が始めた会社です。初代が長男の吉太郎。二男の源造が2代目。三男が守治。3代目に初代吉太郎の長男、和夫がなりましたが47歳で若くして亡くなったために、4代目をその時専務であった桜井が引き継ぎました。そして私がその後平成20年に社長になり現在に到ります。

当社は総合建設と鉄骨の加工製作を行っています。建設業は一般的な請負の形態です。特長、強みとしては、元請と下請が一緒ということ。鉄骨は普通下請に出すのですが、自社工場を持っていきます。現場は東北全域です。

【佐藤】建築では秋田、宮城が多いですね。

【布施】鉄骨だけなら現場でオントラックの場合もありなのでどこまでも行きます。

【佐藤】東北はもちろん、関東一円まで持っていくます。

【布施】鉄骨だけ請け





負っている場合もあります。総合ですと元請になりま
すから全部の施工
をやることになり
ます。

【佐藤】公共工事、
民間では一般住
宅、工場、店舗と
何でもやっています。

す。

【布施】鉄骨は曲げたりする場合もあります。又、溶接すると歪んでくるので、曲がるのを
予定して溶接してまっすぐにします。結構技
術が要ります。歪み具合を最初からよく考え
て造らないといけません。大変大きなもので
すがミリ単位で仕事をやっています。歪みで
建物に問題が出たら取り返しがつかなくなり
ますので、絶対に失敗が許されません。

【佐藤】しかも、骨組みですから外から見えな
い。でも、鉄骨は手離れが早いですね。現場
に行つていつの間にか建ってきたねとなつた
らほぼ仕事は終わりです。総合建設ですと基
礎から鉄骨建てて屋根掛けてサッシ嵌めて外
壁をやつてと完了までの工期がずっと長い
のですが、鉄骨だけですと、打ち合わせをした
り図面を描いて工場に渡してと見えない部分
で時間はかかるのですが、大まかな建て込み
は、1週間ぐらいですから。

【布施】以前住宅を解体したら階段部分に祖父
の名前が出てきたということもありました。
あれは取っておきたかったです。祖父の仕事
が現在でも見れるというのは感動しますね。

きたことで仕事が繋
がっているのです。
【布施】何よりも大切に
してきたのは「信頼」
です。これが一番で
す。お客様から仕事を
頂いて、その後何年か
経つたらまた同じよう
な仕事を頂いて。建築
は建築で、鉄骨は鉄骨

【佐藤】50年、100年前でも造つた物が残る
というのは嬉しいものです。

でお客様から信頼感を持つて頂いていること
は大変ありがたいことです。設備に関しても
震災需要を見込んで新しい機械を導入してい
ます。去年あたりはガレキ処理や土木工事が
主だったので、おそらく今年の夏以降あ
たりから建築関連も徐々に出てくるのでし
ょう。

【佐藤】決まつた物を造るのではなく、設計図
からひとつひとつ造ります。その都度様々な
物件に対応するのでひとつとして同じものが
ありません。そこに面白みとかやりがいがあ
ります。

●朝礼は会社の体制づくり。
【佐藤】活力朝礼は始めてから5年くらいにな
ります。そろそろ会社でもやってみるかとい
うことで、桜井会長が始めました。朝礼研修
に習いに行つて少しずつバージョンアップし
てきました。

【布施】総合建築に関しては、昔と違って公共
工事が減り、民間が主ですが低価格競争の中
であっても、品質、工期に細心の注意を払い
ながら頑張つてやって
います。

外で朝礼をやる理由ですか。気持ち良いか
らです。天気が悪いと工場内でやるのですが、
薄暗いしラジオ体操もあるので狭いというこ
とで外でしています。

【佐藤】ウエイトは民間の
方がずっと高い。しかも
当社は、昔からお付き合
いをしていて何回もご用
命いただいているお客様
がとても多くて、そうい
う意味では恵まれていま
す。創業以来、間違いの
無い仕事をずっと続けて



【佐藤】ウエイトは民間の
方がずっと高い。しかも
当社は、昔からお付き合
いをしていて何回もご用
命いただいているお客様
がとても多くて、そうい
う意味では恵まれていま
す。創業以来、間違いの
無い仕事をずっと続けて



【佐藤】ウエイトは民間の
方がずっと高い。しかも
当社は、昔からお付き合
いをしていて何回もご用
命いただいているお客様
がとても多くて、そうい
う意味では恵まれていま
す。創業以来、間違いの
無い仕事をずっと続けて

が、当社は8時から始業です。前は会社に来て8時から簡単な朝礼をした後にお茶飲みを始めたりにしてそこから30分〜1時間位の時間的なロスがありました。活力朝礼に変えてからはビシッと仕事体制に切り替えることができたようになりまし。何とか言ってもだらだら感が無くなりました。



【布施】昔は8時から朝礼をしていましたが、これはおかしいと思っておりました。8時から仕事。その前に朝礼は済ませます。

きだと思っておりました。ですから活力朝礼を始め良かったと思います。

【佐藤】朝礼を変えてから社員さんの返事が良くなりました。随分いた遅刻者がほとんどいなくなりました。掃除や除雪も自主的に率先してやってくれるようになりました。前向き感も前よりは出てきています。

【布施】私は社長訓示をいたしません。必要なことは連絡事項の時に言うようにして、朝の挨拶は挨拶のみにしています。必要なことのみ話すようにして、大切なことは個々に呼んで言うようにしています。

【佐藤】社長にはキリツとして、朝の挨拶だけにして頂いております。それと、社員さんに社会貢献への意識が高まってきたというこ

ともありますね。震災の時の動きも素晴らしかったです。また、環境への意識も高まっています。



【布施】透明人間暖めてどうするんだ？と言うのです。バンバン消すんです。電気消して、ストープ消してというのをしょっちゅうやっています。そうしたら消すようになりました。必要でなければ使わない。必要ならば使いなさいということですよ。

仕事はちゃんと電気点けて明るいとこで間違わないようにしなさいということですよ。小さなことですがすごく大事なことです。

【佐藤】毎朝、職場の教養の輪読、感想をやっているわけですが、家で読んできて自分の頭の中で感想を思い描いて来るわけです。社員さんが人前で話す機会はなかなかないわけですが、そういう機会を設けることで、会社ばかりではなくいろいろなところで話す機会があったときに躊躇せずに話すことができるようになりま。そういうメリットはあります。

【布施】職場の教養にはなかなか良いことが書いてありますね。何よりも読むことが良いですね。読むのが下手な人が段々上手になってきます。まず読むことから始める。これは

良い訓練です。我々の目に届いていませんが、施主さんや設計事務所さんとのコミュニケーションにも役に立っているかもしれない。会社は社員さんひとりひとりで成り立っているものから。ひとりがヘンなことを言ったらあの会社はヘンねとなりますから正直怖いですね。

【佐藤】朝礼をやることによって知らず知らずのうちに良くなっているのかもしれない。

【布施】ひとりひとりの考え方が社風になるし、社風が人をつくっている。お互いに高めあうことが大事です。社風は内部にいると気が付きません。社風とは世間の評判という感じもします。あの会社はしっかりしているね、真面目だねという世間の評判。うちの会社の社風はこうだというような言い方はいたしません。が、どう世間から当社が見られているかは気になる。朝礼はきちんとやりましよう。朝はとて大切ですよ。



単会トピックス



山形市蔵王倫理法人会
広報委員長 渡辺 英一郎

山形市蔵王倫理法人会の特別モーニングセミナーは12月8日山形グランドホテルの最大の会場である「サンリヴァ」にて、吉村美栄子山形県知事を講師にお招きし開催しました。これまでも定期的に「100人モーニングセミナー」は開催してきましたが、大会場でのモーニングセミナーは久しぶりです。村山ブロックの特別モーニングセミナーウィークの最初ということもあり、他単会及び県外の方も多数役員朝礼からご参加頂きました。知事の講話も固い話ではなく、「つや姫の母」としての愛情たっぷりのほのぼのトークでした。皇太子殿下がつや姫をおいしいと言ったことはモーニングセミナー参加者と知事間の秘密です。



山形市倫理法人会
会員 岩井 芳一

宮崎京子さんと200人MS

平成24年11月27日山形市倫理法人会で200人MSが開催され208名もの人にご参加をいただき心より御礼申し上げます。

宮崎京子さんは、*やまがた賛歌*の為なら私は何でもしますと言ってくれており、今回のMSに繋がりました。

宮崎さんのコンサートは夕方からの公演が多く、今回のMSとは約12時間の時差があり、とても心配（経験が無いので）をしていました。

*やまがた賛歌*の作詞、作曲が私の実弟、従妹の宮崎京子さんに皆さんの前で歌っていただきましたが感想はいかがだったでしょうか。

「*やまがた賛歌*が第二の県民歌になったらしいね」などと夢を語っている一人です。皆さん、応援よろしくお願いします。



山形市中央倫理法人会
広報副委員長 丸子 芳史

200名MS

2012年11月29日に山形国際ホテルにて行われました「特別200名経営者モーニングセミナー」では、



社団法人きずきの川畑秀雄理事長をお迎えし「苦難の時こそ成長するチャンス」と題し、ご講話頂きました。前週の土曜日、山形市蔵王倫理法人会で特別モーニングセミナーを盛大に開催し、同週火曜日、山形市倫理法人会の200名モーニングセミナーでは目標を超える参加者によって会場が埋め尽くされておりました。開催日までまで集客に対する不安はありましたが、結果として当初の予想を大きく上回る142社317名という多くの皆様からご出席を頂き、無事に終えることができました。ご参加頂いた皆様には、心より感謝申し上げます。

1周年記念式典

2012年10月24日に山形国際ホテルにて「社団法人倫理研究所 山形市中央倫理法人会 第1回会員大会 及び 設立1周年記念式典」が開催され役員をはじめ数多くの方からご出席を頂きました。第1回会員大会では、平成24年度の事業報告並びに今年度の事業計画の発表を行い、設立1周年記念式典では、多数のご祝辞を頂きました。また式典後

は、会員の交流を深めるために祝賀会を行いました。こうして設立1周年記念式典と第1



回会員大会を開催できたことは、大変喜ばしく思うと同時に、会員の皆様、役員の皆様、山形県の役員や近隣単会の皆様のお力添えがあつて、ようやく1年目を迎えることができましたことを、心から感謝申し上げます。



酒田市倫理法人会
会員 佐藤 幸美

12月5日、24年最後のスペシャルモーニングセミナーが開催されました。今回のゲストは、東北公益文科大学町田睿学長の「銀行生活50年」と題してお話でした。秋田県出身の学長は、荘内銀行に入社後頭取も務めた方です。庄内に対しての愛情がひしひしと感じられました。現在は公益大の学長に就任し学校改革に取り組んでおられます。

民族と宗教を理解してグローバルな社会に

貢献する学生を育てたいとのお話には、倫理



に繋がる部分が多くあり興味深いものでした。豊かさの中で育った若者が精神的に弱い部分が見受けられるゆえ、一年生の全寮制を検討しているとのことでした。信念を貫いてきた町田学長の在職する公益文科大学の今後が楽しみです。



上市市倫理法人会
広報副委員長 岡崎 紘一

上市市倫理法人会の「100人モーニングセミナー」は、10月12日山銀リース株式会社代表取締役社長吉田勉氏を講師に開催された。会場には118名の会員及び一般の方々

が熱心に聴講された。吉田勉氏は「元銀行員のひとりごと」と題して、山形銀行に勤務されて感じたこ



と、実践して来た事柄をいねいに講話された。あいさつは元気良くはつきりと、電話は3コール以内でとること、5分前行動の必要性等々、私たちの倫理に通じる基本的な事ではあるが改めて自分自身を省みる内容であった。

「経営者は経営者に尽きるのだ」という。本当に重い言葉であり、含みのある言葉である。人材の育成は経営者の指導によって人材にもなり、人罪にもなる。日頃から将来を見据えて、一日一日大切に生活する必要性を肌で感じたセミナーであった。

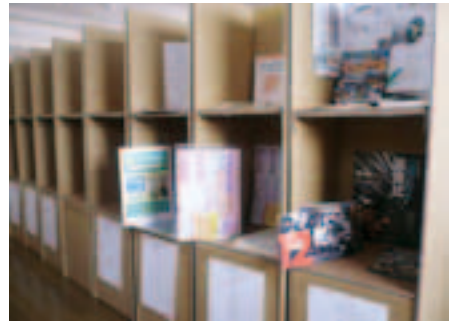


長井市倫理法人会
事務長 那須 孝

「異業種交流ブース」について

長井市倫理法人会は今年で5年になりました。毎回のモーニングセミナーでは色々な経営者や多方面の方々の講話をお聞きし、毎日の活力となつて居ります。只、異業種の方々がどんな製品を作ったり、販売、営業をしているかは知らない事が多いのが現実です。この度、初めての試みで「異業種交流ブース」を新事務所脇に設置いたしました。事務所の隣という事で来たついでに気軽に見て頂き異業種でもお互い何か共通して互いに発展でき

るきっかけとなれば幸いです。何か一つ前進



するきっかけを作る
異業種交流ブース、
長井だけでなく他の
地域でも広がればう
れしいです。まずは
一歩から新しい事に
挑戦して発展してい
きたいと思えます。



南陽市倫理法人会
専任幹事 飯塚 一博

忘年会を開催して

去年12月5日に、熊野大社證誠殿におきま
して忘年会を開催致しました。参加人数は45
名の参加でした。会員のご家族での参加者も
多く、子供連れや奥様達と女性の参加者も多
く和気あいあいと一夜を楽しく過ごしまし
ました。

和田会長の挨拶からはじまり、南陽市倫理
法人会忘年会恒例のライブコンサートに入り
ました。

今回は岩手県大船渡出身のシンガーの濱守
栄子さんをお呼びいたしました。この方は、

10月にロータリークラブの地区大会にもお呼
びしており、大反響を得たところです。東日
本大震災で故郷を失った寂しさを歌った「国
道四十五号線」は、会場の参加者の涙を誘い、
改めて大震災を思い起こしました。

鹿又幹事の乾杯の音頭で早速懇親に入り、
ベッドやこたつが当たる大抽選会では、大い
に盛り上がり、来年も参加したいという声
が、会員から聞こえました。最後に北野幹事
の締めで、忘年会を無事終了いたしました。
今回の忘年会を終了して私を感じたことを
書いてみたいと思います。

南陽市倫理法人会は女性会員が少ない為、
当然モーニングセミナーの女性参加者は、毎
回一人位しか参加者がおりません。今回の忘
年会のように女性会員が参加されますと、会
が盛り上がりますので女性会員拡大は責務で
あると感じました。



次に倫理法人会は、一体
何をしている会であるかど
うかが、まだまだ理解して
いない人が多いということ
です。

会員に誘われ忘年会に参
加された方々は、一体ど
のような会と感じたかど
うか、とても興味がありま
す。その中から一人でも多
く入会者がでてくれば、う

れしいと思えます。倫理活動は間違いなく世
の為人の為になり、間違いない活動であると
信じております。これからも自信をもって、
普及活動をしていきたいと思えます。



米沢市倫理法人会
青年委員長 中村 圭介

平成24年12月21日(金)米沢市上杉城史苑
にて、毎年恒例の米沢市倫理法人会クリスマス
パーティーを開催致しました。相田会長の
挨拶で会は始まり、美味しいご馳走をいただ
きました。アトラクションではNPO法人さ
わやかネットワークの皆様によるバンド演奏
で会場を大いに盛り上げていただきました。
また、多くの会員の皆様からご提供いただ
いた豪華プレゼントが当たるビンゴゲームも大
好評。会場のあちこち
で歓声が上がっており
ました。時間がとても
短く感じられる程のと
ても楽しいクリスマス
パーティーだったと思
います。

いつものモーニング
セミナーのメンバーは
もちろんの事、ご家族
様や従業員の方々、多





方面からご出席いただき大きいに懇親を深める事ができました。これから倫理を学ぼうとしている方にも倫理法人会を知っていただく良い機会だったと思います。

最後になりますますが準備にご協力いただいた皆様、ご出席の皆様、ゲストの皆様、たくさんの方々の皆様のお力添えに心から感謝申し上げます。

倫理を学んで



新庄最上倫理法人会

荒川 英利

新春 心よりお慶び申し上げます。

昨年は平成不況から未だに脱出できず、政治経済不況に喘いだ年でありました。外に目を向ければ、領土・外交問題に大変憂慮するところです。

この度「倫理を学んで」原稿の依頼により

乱筆で恐縮ではありますが、思いを伝えたいと思います。

弊社が倫理法人会に入会させて頂いたのは新庄最上鈴木前会長の勧めでありました。その時は、何の目的かも理解せず入会しましたが、モーニングセミナーを受講した際の内容が会社経営に絶対必要不可欠であると感動を覚え、現在に至っております。

毎週のモーニングセミナーや職場の教養を通じて、毎日大きな気付きを与えられ、なるべく実践できるよう努力している次第です。そして、倫理とは生涯実践することにより道理が見えてくるような気がします。

今後、このような会が一人でも多くの方々から受講賛同を願いたいものです。



庄内中央倫理法人会

MS副委員長 斉藤 裕行

私はへそ曲がりな人間です。

法人組織ですらない、従業員もいない父と二人の自営業です。

倫理は素晴らしいと人が言えば、本当にそうなんだろうかと考え、会費が高いのはなぜなんだろうかと思いを馳せ、もっと役員にふさわしい社長さんがいるのでは等々、様々な疑問を持ちながらもMSに出席しています。

しかし、毎回、講師の方のお話を伺うとた

ただただ素直に「今日も考えるきっかけを与えていただいた」と思います。そして、無条件に頷く自分があることを発見します。

素直な気持ちで思いを巡らし、考えを深める時間を持つことができることで、未来への希望が持てるように感じています。



鶴岡市倫理法人会

秋山 準

私が、倫理と出会ったのは、勤務先の株式会社ひまわりの伊藤社長より声をかけて頂いたのがきっかけでした。自分の中では倫理とは難しいものとして捉えておりましたが、当たり前の事を当たり前に行う事であり、感謝する心、思うだけでなく行動に移すこと等々、とても身近なものでした。

まだまだ未熟者の私は、言い訳が先に出たり、前向きな心が折れることもあります。が、『いや、そうではない』と自分で考え直す事が出来るようになりました。『やれば出来る』を信じ常に頭に入れるようにしています。これも倫理に触れたお陰と感謝しております。倫理を学んでと言うよりは、まだ倫理の門を叩いた程度ですが、私の人生には、大切な教えと思って、これからも一社会人として磨きがかかるよう、倫理を学び続けていきたいと思えます。

宮城

倫理経営塾 参加者募集



米沢市倫理法人会

会長 相田 晃輔



「倫理経営塾」とは、倫理経営を学び自社経営に活かす塾です。宮城県倫理法人会が運営しており会員企業の後継者は勿論、現役経営者も塾生として学べる倫理研究所公認かつ日本で唯一の場。私も縁あって昨年入塾、卒業させていただきました。塾は経営計画書作成が課題ですが、実際は経営理念を練り作り上げる事に殆どの時間を費やし、経営理念の重要性を認識します。また、当塾は卒業すれば終わりではなく、

その後も塾運営に関わりながら同期同窓塾生と共に更に学び合い、自社経営の糧に出来るのです。私、自信を持ってお薦めいたします！詳しくは090-2604-1212(相田)まで。

平成25年度 倫理経営講演会のご案内

山形市倫理法人会

日時 平成25年2月25日(月) 17:30～
会場 メトロポリタン山形
テーマ 運命は自らまねく **体験報告**

山形市蔵王倫理法人会

日時 平成25年3月8日(金) 18:30～
会場 山形ビッグウイング
テーマ 出せば入る **朝礼実演**

上山市倫理法人会

日時 平成25年3月21日(木) 18:00～
会場 月岡ホテル
テーマ 運命は自らまねく **体験報告**

天童市倫理法人会

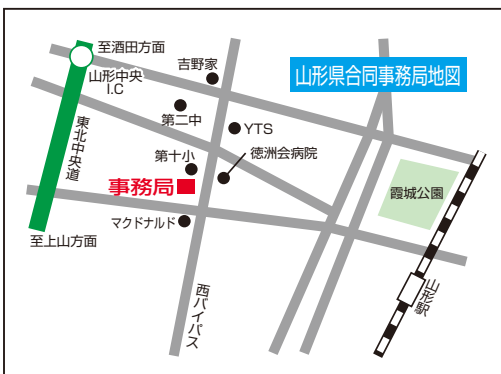
日時 平成25年4月16日(火) 17:30～
会場 ほほえみの宿 滝の湯
テーマ 出せば入る **体験報告**

米沢市倫理法人会

日時 平成25年4月17日(水) 17:30～
会場 東京第一ホテル米沢
テーマ 運命は自らまねく **体験報告**

山形中央倫理法人会

日時 平成25年4月17日(水) 17:30～
会場 山形国際ホテル
テーマ 運命は自らまねく **体験報告**



URL <http://www.yamagata-rinri.net/m/>

編集後記

山形県倫理法人会
広報委員長 土屋 和浩

経営に迷ったらブナに会いにいきなさい。ブナから感じなさい。ブナから気づいたことがその人の感性になる。その磨かれた感性はトップリーダーが即答を迫られた時の直観の礎になる。

ブナのように「その場で生きよ」。人口減少は過疎を生む。過疎とは人が動くこと。ブナは動かない。山間部の家庭ですら石油ストーブを使う時代。便利ではあるがどこかおかしい。家を出ればすぐに薪が手に入るのだから。ブナは動かないが実はよく動く。人間と動物を区別する。2本、3本と共生しお互いを助け合う。ブナは利口なのだ。

本間利雄名誉会長の思想がやまがたの倫理に息づいていることを誇りに思います。